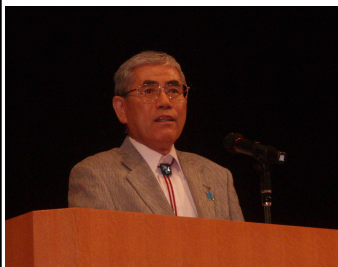


## 地元開催の教育者研究会！

第48回教育者研究会が県下3会場で行なわれることになりました。岐阜もとす会場は、本会が運営担当となり平成23年8月10日（水）北方町きらりホールにおいて開催されました。

昨年度から準備にかかりましたが、幸い本巣市・北方町教育委員会からは、後援の心強いお言葉をいただきました。会場の確保については、北方町宮川教育長よりご配慮いただきました。県の会議では、本会提出の式次第・予算などを審議、承認していただきました。前日準備には、役員の方に骨身を惜しまず働いていただきました。多くの方のご支援により、ようやく開会の運びとなりました。

テーマは今年度も「思いやりの心を育てる」です。村山和子副会長・北村あずさ会計の司会。開会式は、岐阜県モラロジー協議会・古川定邑会長の挨拶の後、国歌斉唱、(財)モラロジー研究所東海ブロック・平林正幸部長による主催者挨拶がありました。また、地元を代表し北方町長室戸英夫様より歓迎のご挨拶があり、豊かな心を育てるためには…と、日頃からの思いも語っていただきました。



開会の挨拶・古川会長 主催者挨拶・平林部長 来賓挨拶・室戸町長

### 第1講 「『心を育てる』ということ」 岐阜女子大学教授

平松 清美 先生



昨年度本会の総会後にご講演いただいた平松先生に、再びお願いすることができました。

「少人数ではもったいない！」とのご感想をもらいましたが、今回何とか反省を活かせるのではないかと安心したものです。

岐阜新聞に連載された『心が育つまち』を今回も資料として配布しました。そこに書かれた内容を具体的に語っていただきました。紹介された数々のエピソードを聞きながら、共感して大きくうなづく会場の皆様の姿がとても印象的でした。

「体験から育つ」では、体験談をしてくださいました。家具の製造販売をしている店の代表として、ご希望通りの素晴らしい品ができたと自信をもって出かけたら、注文主に「いらん！」と言われてしまったお話。何がいけないかを聞こうにも「自分で考えろ！」と取りつく島もない。考えに考えて、注文主にまた会いに行くことに。「すみませんでした」と丁重に詫言いで、考えてきたことを述べる。「思いやり」「コミュニケーション」「堅実さ」の大切さを学んだことを注文主に伝えると、一転「それならもらっておくよ」の声。「感謝」の気持ちがあると、どんな時でも次に生かせる道が開かれるのだと感じさせていただきました。人と人をつなぐのが言葉であるのなら、相手のことを深く理解して、謙虚に相手の心に響く言葉と真心を届けられる自分でありたいと思いました。

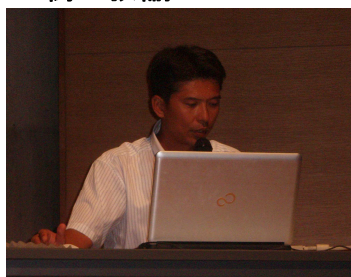
# 教育者研究会で現場の教師を育てたい！

教育研究会が1部会制になって以来、「道徳教育を研鑽してみよう」という教師が教育現場で少なくなっています。全国的にもレベルが高い岐阜県ですが、意欲をもった若い現場の教師を育てる必要があります。教育者研究会が応援する良き機会の一つでありたいと考えます。

## 教育実践発表

### 発表者（1）：瑞穂市立本田小学校 堀 正樹 教諭

堀教諭は、「一人一人が自己の生き方についての考えを深める学級経営をめざして～仲間とのよりよい関係づくりを通して～」と題して発表しました。A男B子の成長を学級経営に位置付け、学級集団として高まり合えるように指導している素晴らしい実践でした。



### 発表者（2）：大垣市立一之瀬小学校 加中 雅章 教諭

加中教諭は、「思いやりの心を育てる道徳実践～家庭や地域とのつながりを大切にした小規模校の特色ある教育活動を通して～」と題して発表しました。小規模校・地域の特性を生かした実践で、どの子にもある「よさ」を根気よく伸ばしている事に感心しました。



### 発表者（3）：北方町立北方中学校 寺田 武義 教諭

寺田教諭は、「相手の身になって気持ちを考えることのできる生徒の育成」と題して発表しました。我等が代表として、生徒理解による確かな成長を力強く語りました。生徒間に求めるだけでなく、「信頼」は、教師側に如何にあるべきかも考えました。



## 第2講 「教師に求められるもの、気づきと学び」

モラロジー研究所社会教育講師 遠藤 兵庫 先生



遠藤先生には、関市青少年の家で宿泊学習をした昨年度、北方町内の5年生がお世話になりました。そのお人柄から今回の講師をお願いしました。先輩校長として誠実に研究的な生き方をする一方、真摯な生活人としても魅力のある方です。

教師として道を歩もうとする若い人への応援メッセージをたくさんいただきました。取り巻く環境の悪化を分析しつつ、なお児童・生徒の可能性に期待をこめ、「子どもの心に灯を点す」教育者になることを願っている情熱が伝わってくるお話でした。

特に、野外学習に見える児童・生徒の姿からその心の有り様を考えると、その対応・指導として教師はどうあったらよいかを考えるとよく分かりました。実際に指導員として気づかれたことを踏まえてのお話で、実践に役立つ内容だと思います。「考え方で人生が変わる」、「考え方を考える」ことで指導力が向上することは「真理」だと共感しました。

最後に、全体をしめくくるにふさわしい教育者道徳研究会・子安一徳会長の挨拶がありました。子安会長



## 先輩有難うございました

根尾から元気に参加して下さった所 美千敏様には、「本会の活動費に…」とご寄付をいただきました。

名誉顧問・大倉 昭様には、参加者の写真をプリントして届けていただきました。

